

## 112. <sup>た た ら ぎ せんす</sup>多々良木扇子踊

### ■ 指定日

昭和53年11月7日

### ■ 種別

無形民俗文化財

### ■ 年代

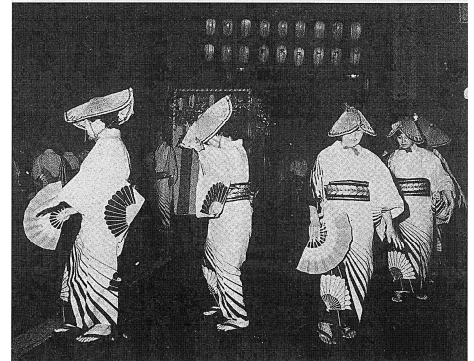
江戸時代

### ■ 所在地

朝来市多々良木

### ■ 所有者

保存会



### ■ 内容

応永18年(1411)に、多々良木村にある八幡社の改築を記念して踊られたのがその始まりであるといわれている。その後も「雨乞い」や「豊作祈願」のために踊り継がれてきたが、第2次世界大戦中に途絶えていた時期もあった。昭和52年(1977)に古老が中心となって再び踊りが復活させ、保存会がによって伝統が守られてきている。  
菅笠、浴衣がけで手に扇子を持ち、太鼓に合わせて踊る優雅なものである。